



会長 中村 龍男



理事長 大出 重光

## 【ごあいさつ】

皆さまには、平素より大阪厚生信用金庫に格別のご愛顧をいただき、誠にありがとうございます。

当金庫は、令和4年9月9日に創業100周年を迎えました。

創業100周年という記念すべき日を迎えられたことは、地域のお客さまからの温かいご支援とご協力の賜物であると、役職員一同、感謝申し上げます。

当金庫は引き続き、中小企業への安定的な資金提供や、お取引先企業に対する各種経営支援といった使命を果たすべく、地域密着型金融の推進に積極的に取り組んでまいります。

昨年度の世界経済を振り返りますと、ロシアによるウクライナ侵攻の影響で世界的なエネルギー価格・食料価格の高騰、各国の金融引き締め等による景気後退懸念と経済を取り巻く環境に厳しさが増しました。

一方、国内経済はコロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつあり、民間需要の緩やかな持ち直しが見られました。今年度においても物価高による下押しはあるものの、賃金上昇を追い風に回復が続くと思われます。また、令和7年には万博の開催も控えており、関西地域の更なる活性化と地域経済の発展が期待されます。

このような中、当金庫の業績は、「預金積金残高」は前期比682億円増加の1兆6,504億円、「貸出金残高」は前期比20億円増加の7,070億円になりました。

収益面では、本業の収益を示す「コア業務純益」は168億円、「実質業務純益」は121億円、「当期純利益」は78億円になりました。

金融機関の健全性を示す指標である自己資本比率は12.19%と引き続き高い経営の健全性を維持しております。

今年度は、中期経営計画「“夢・愛・熱” 経営力日本一の実現」の最終年度であると同時にさらなる成長への第一歩を踏み出す大事な一年です。「相互扶助」の理念のもと、お客さまと地域社会に貢献するとともに、質・量の両面において自らも大きく発展する経営を実現することを目指してまいります。そして101年目となる今年度は、より一層地域の皆さまの信頼と信用にお応えできるよう、役職員一丸となって努力を重ねていく所存でございます。今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年7月

会長 中村 龍男

理事長 大出 重光